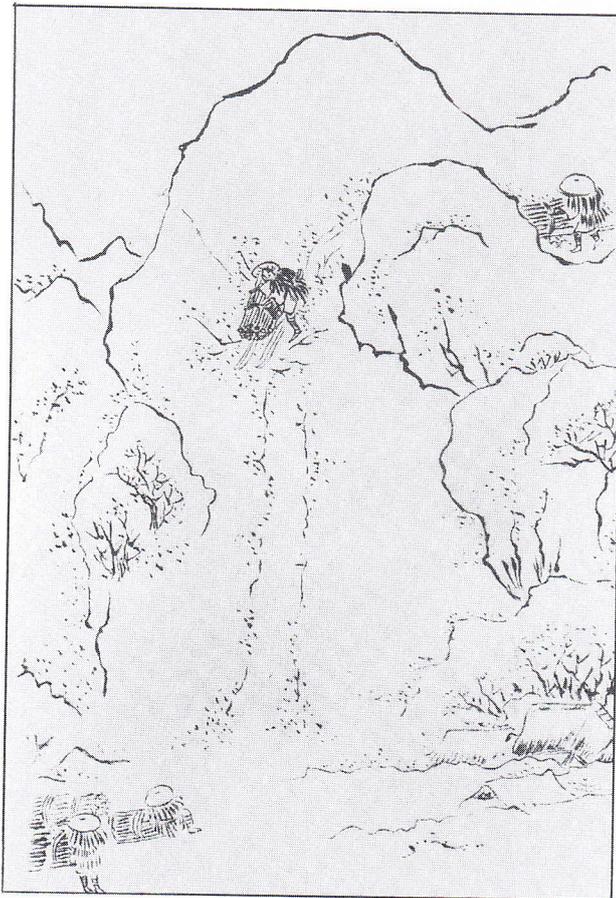


第6章

運搬用具



■ ボイ出しのようす 「越能山都登」より

# ● 運搬用具 ————— 雪国第一の用具・橇

多雪地帯である当地の雪中運搬具<sup>うんぱん</sup>といえは、橇がその花形であることは論をまたない。人々が重い木材などを移動させる時、それに綱をつけて引くことは、古くから行われていたに違いない。それが地上ならば土<sup>ど</sup>橇的なものとなるし、木材ならば水に浮かべて筏のようにしただらうし、やがてそれは船の利用にも至ったのだと思う。

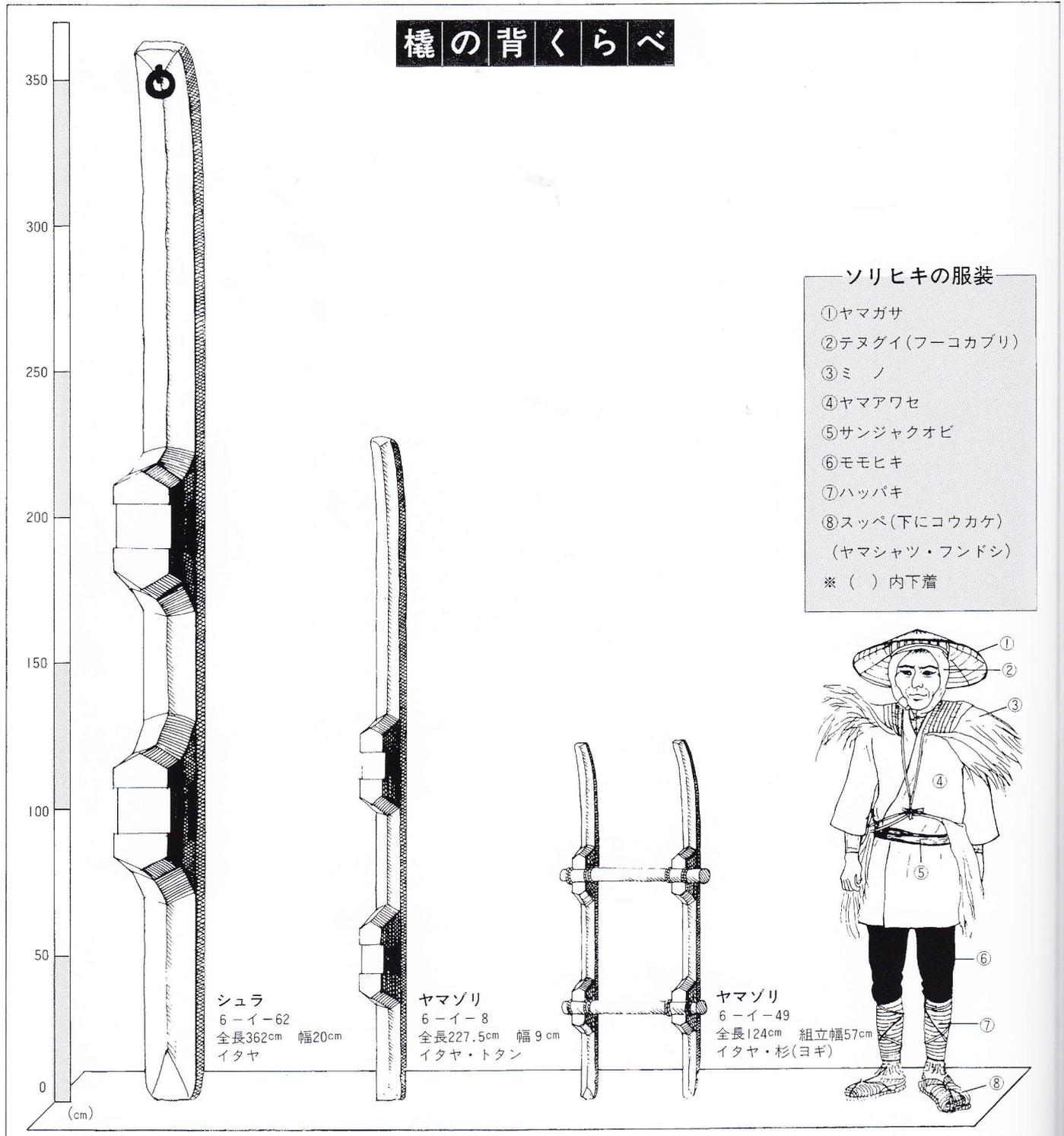
ここで取上げる雪橇は、それらの機能を併せて発案されたといえる。それは雪という滑走に適した素材が地面を覆っている特別な地殻の中で独自の機能を果たしてきた。

当地の橇はいわゆる二本橇が基本で、それが一般的呼

称であるヤマゾリとキカイゾリに大別されている。ヤマゾリは、山地つまり雪原に仮の橇道<sup>そりみち</sup>を作って引くが、キカイゾリは、人々の歩行する既設の雪道を引くのが普通であった。前者は木材や薪、または堆肥の運搬等に、後者は交易などの運搬に主として使用された。

しかし、雪中生活の運搬がすべて橇によって行われていたわけではなく、日常的で最も身近に利用した運搬方法は、携行または背負い運搬であった。地形等にもよるが、橇引きは屈強な男の仕事だったのである。これらの人体運搬の用具は、すべて夏場と同じであった。

## 橇の背くらべ



# イ 橇・ロ 橇付属用具

## ① ヤマゾリ・シュラ

ここでいうヤマゾリは、古くから当地で用いられてきた二本橇で、大小さまざまなものがある。ヤマゾリという呼称は、その総括的な言い方であるが、後に登場する人々の通る道を主として引いたキカイゾリを言わば里橇のように見做して、これに対応した意味での呼び方でもあった。

ヤマゾリの類の中でも、奥山まで入って材木や薪を運ぶものを、大橇または深山橇などと呼び、堆肥運搬の比較的小型のものを肥引き橇などと呼んだ。当地方ではま

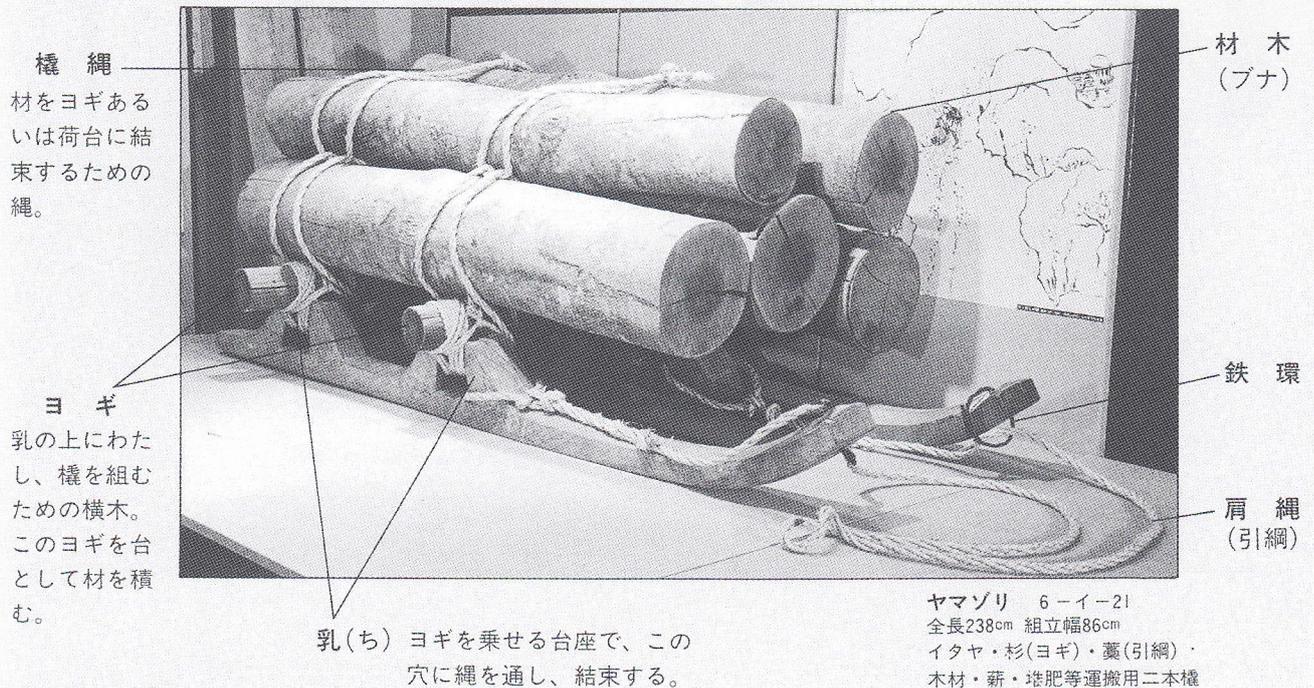
た、畑や水田、つまり農耕地もヤマと呼ぶのが通常であったから、ヤマゾリは、公道とも言うべき雪道と区別して、雪原に仮につけた橇道を引く橇という意味もあった。

シュラは、大持橇ともいい、超重量物を運ぶ時だけに使う超大型橇だが、これもその形式から言えば山橇の類とも言える。これを用いることは極めて希で、たとえば寺院の建築用材や石材などの運搬に用いたが、村人総出動の公共的作業の場合が多かった。

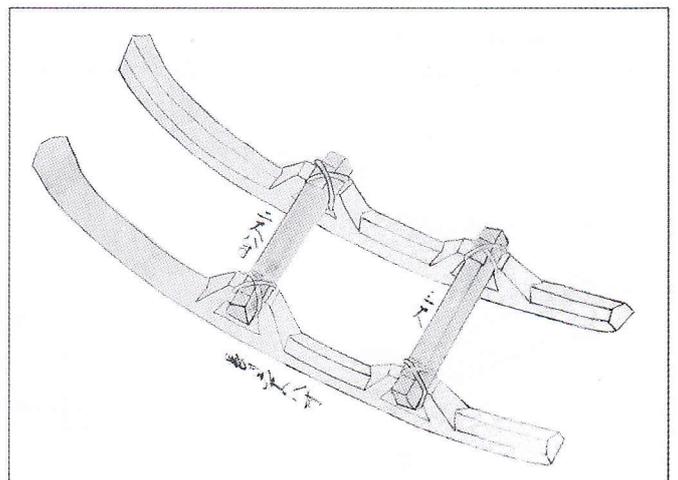
特に小型の山橇は、小幅に組んで歩道を引くこともあったようだが、それがキカイゾリの出現を促した。

### 材木を積んだ状態

下の写真では、材木をヨギの上に直接積んでいるが、積載する材の形状などによっては、この上にさらに荷台を組んで積むこともある。また肩繩は、乳から直接とることもあるが、引き易い位置を保つため荷を結束した縄を通して調節することもある。この写真の場合は、ヤマゾリの鼻（先端部）に取付けた鉄環に肩繩（引綱）を通して、そこを支点としている。

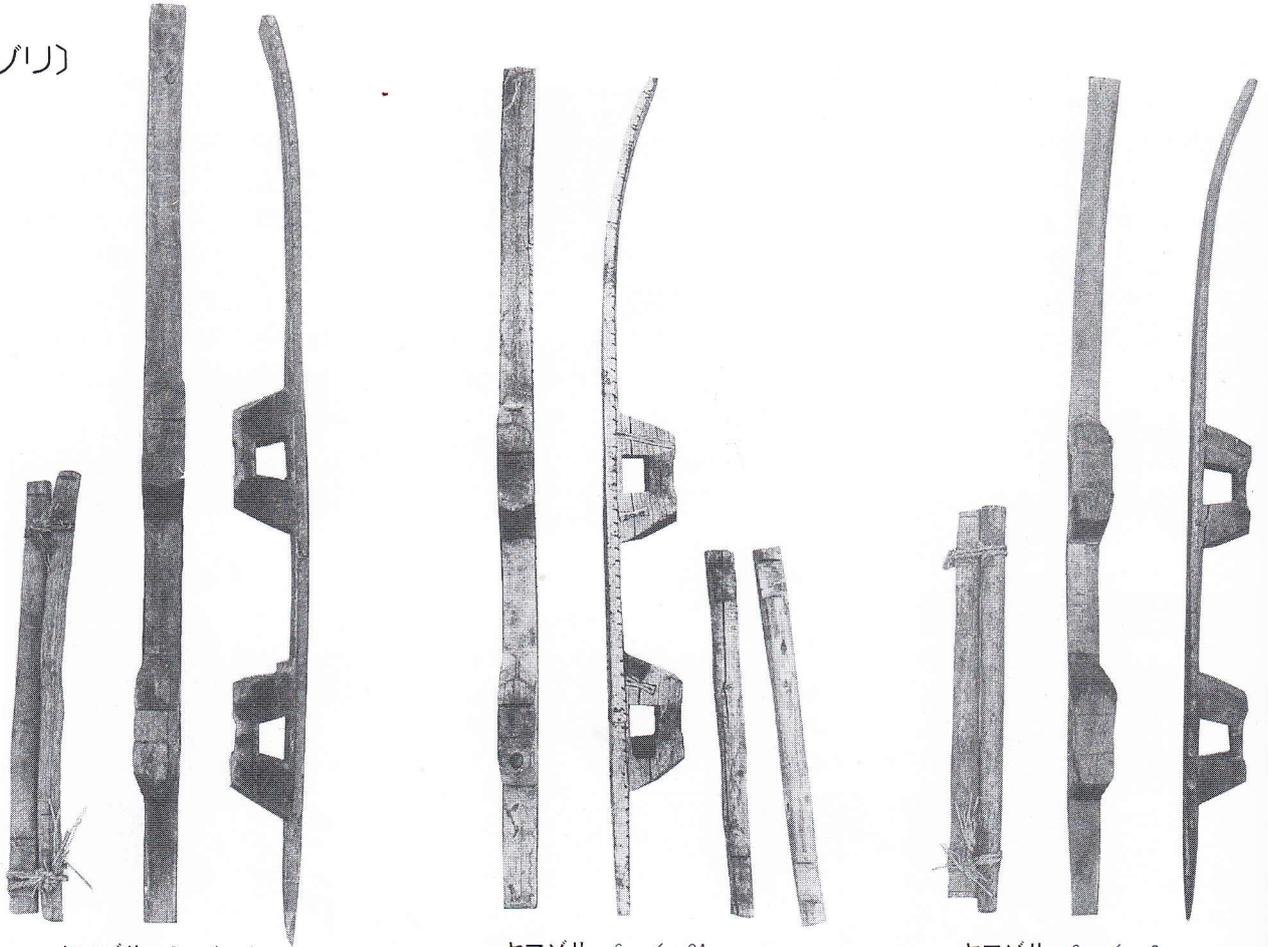


■ヤマゾリでの木出しのようす



■「北越志」に描かれている橇

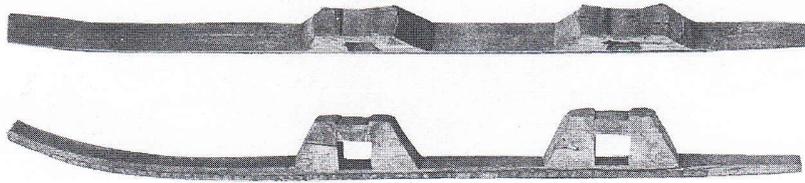
〔ヤマゾリ〕



ヤマゾリ 6-イ-1  
 全長230cm 幅9cm  
 イタヤ・トタン・杉(ヨギ)  
 木材・薪・堆肥等運搬用二本櫓

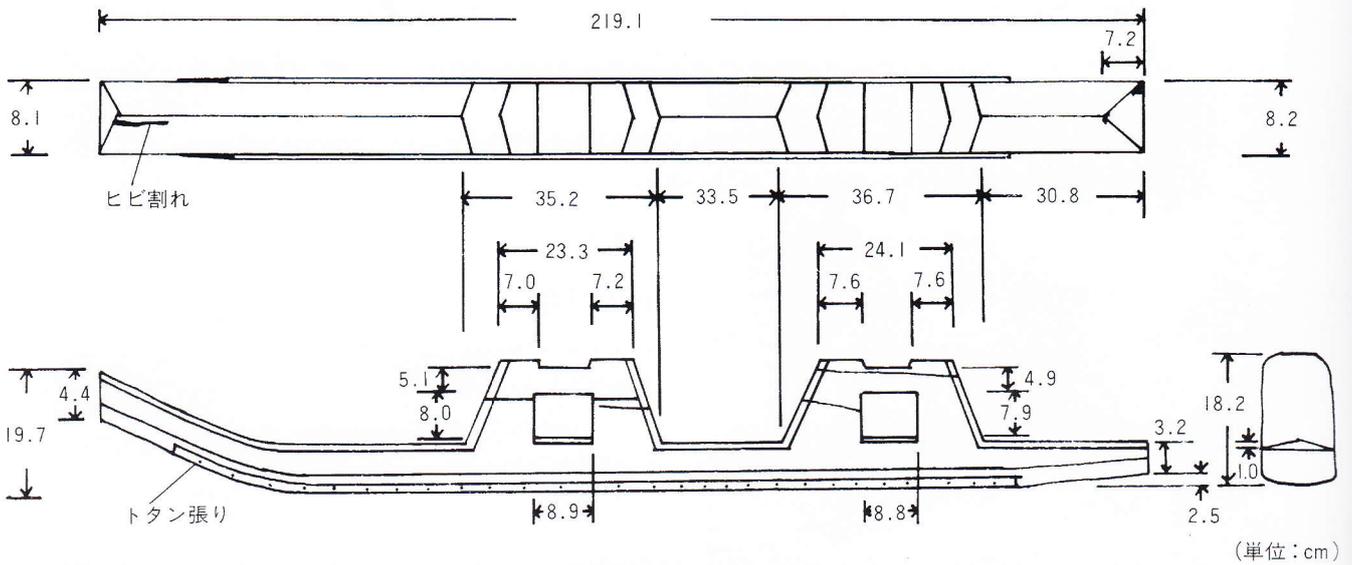
ヤマゾリ 6-イ-24  
 全長229cm 幅9.3cm  
 イタヤ・トタン・杉(ヨギ)  
 木材・薪・堆肥等運搬用二本櫓

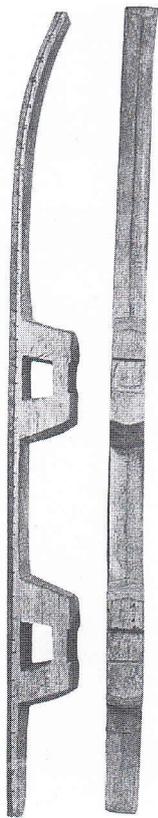
ヤマゾリ 6-イ-2  
 全長228cm 幅9cm  
 イタヤ・トタン・杉(ヨギ)  
 木材・薪・堆肥等運搬用二本櫓



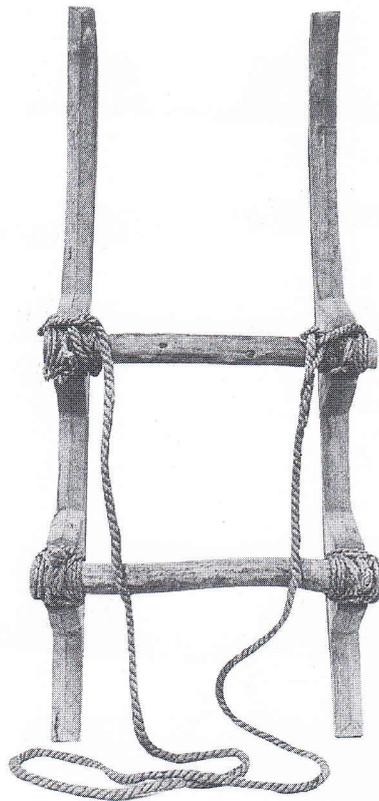
ヤマゾリ 6-イ-12  
 全長219.1cm 幅8.1cm  
 イタヤ・トタン 木材・薪・堆肥等運搬用二本櫓

ヤマゾリ 6-イ-12 実測図

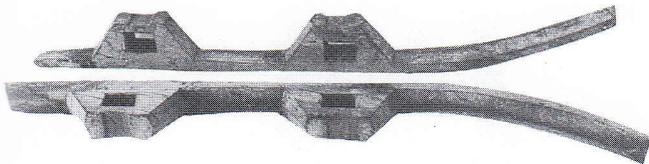




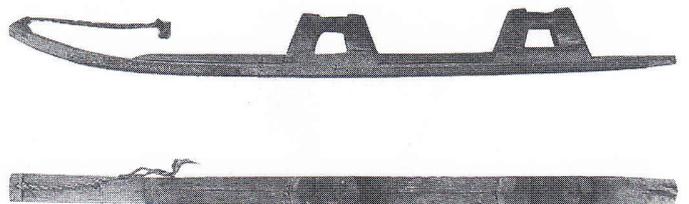
ヤマゾリ 6-イ-9  
 全長222cm 幅9.3cm  
 イタヤ・トタン  
 木材・薪・堆肥等運搬用二本櫓



ヤマゾリ 6-イ-11  
 全長208cm 組立幅86cm  
 イタヤ・トタン・杉(ヨギ)・藁(引綱)  
 木材・薪・堆肥等運搬用二本櫓



ヤマゾリ 6-イ-28  
 全長230cm 幅11cm  
 イタヤ  
 木材・薪・堆肥等運搬用二本櫓



ヤマゾリ 6-イ-18  
 全長213cm 幅9.9cm  
 イタヤ・トタン・藁縄  
 木材・薪・堆肥等運搬用二本櫓



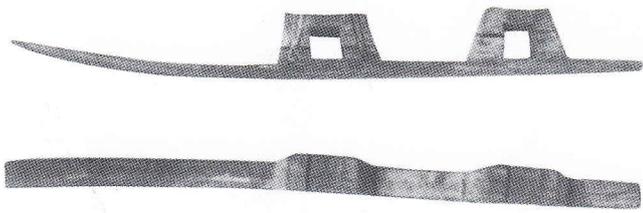
ヤマゾリ 6-イ-16  
 全長211.8cm 幅8.9cm  
 イタヤ・トタン  
 木材・薪・堆肥等運搬用二本櫓



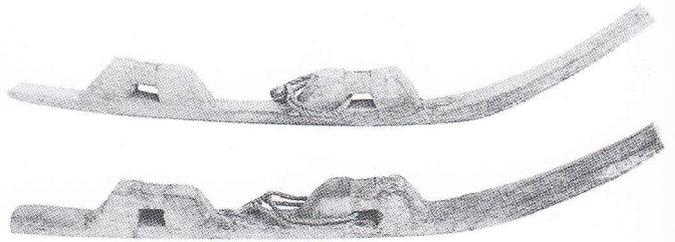
ヤマゾリ 6-イ-26  
 全長187cm 幅8.4cm  
 イタヤ・トタン・アケビ蔓  
 木材・薪・堆肥等運搬用二本櫓



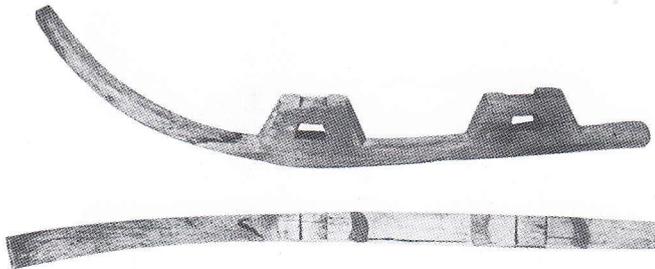
cm)



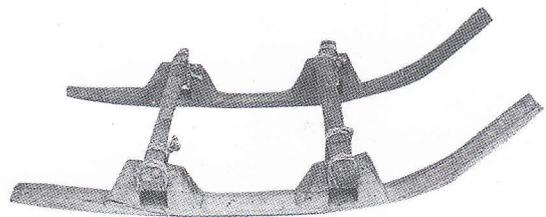
ヤマゾリ 6-1-52  
 全長178.1cm 幅9cm  
 イタヤ  
 木材・薪・堆肥等運搬用二本櫓



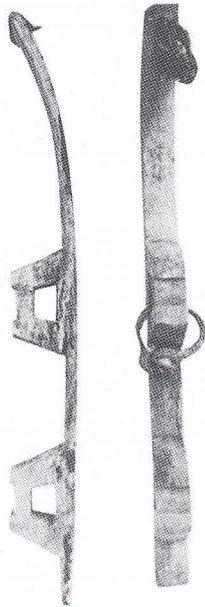
ヤマゾリ 6-1-39  
 全長170cm 幅9cm  
 イタヤ・藁縄  
 木材・薪・堆肥等運搬用二本櫓



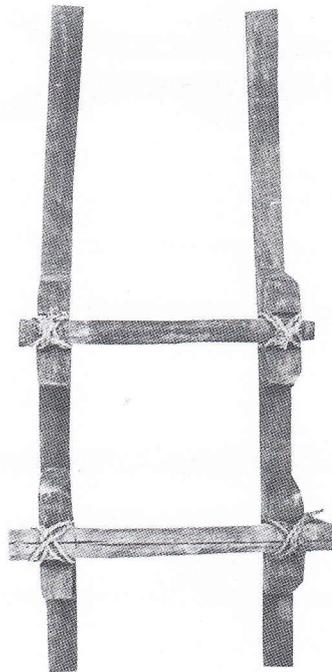
ヤマゾリ 6-1-43  
 全長170cm 幅8.7cm  
 イタヤ  
 木材・薪・堆肥等運搬用二本櫓



ヤマゾリ 6-1-49  
 全長124cm 組立幅55.6cm  
 イタヤ・杉(ヨギ)  
 木材・薪・堆肥等運搬用二本櫓

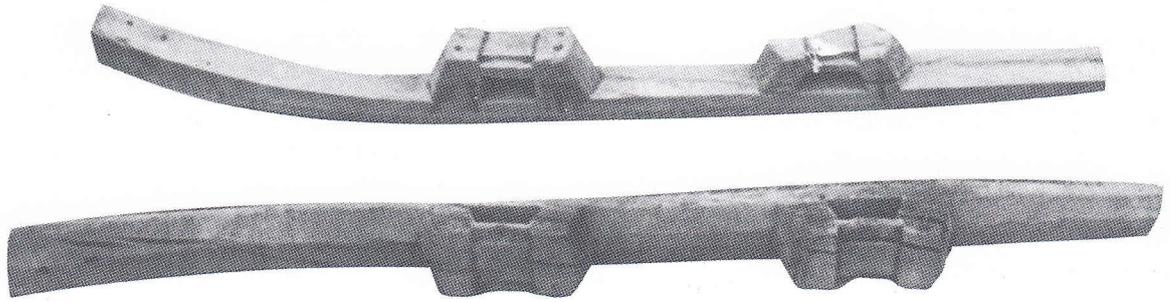


ヤマゾリ 6-1-38  
 全長160cm 幅9.6cm  
 イタヤ・アケビ蔓  
 木材・薪・堆肥等運搬用二本櫓

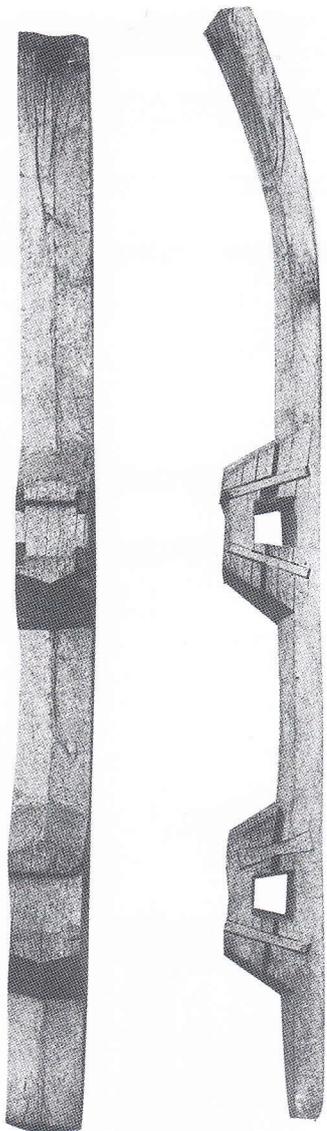


ヤマゾリ 6-1-50  
 全長166cm 組立幅65cm  
 イタヤ・杉(ヨギ)  
 木材・薪・堆肥等運搬用二本櫓

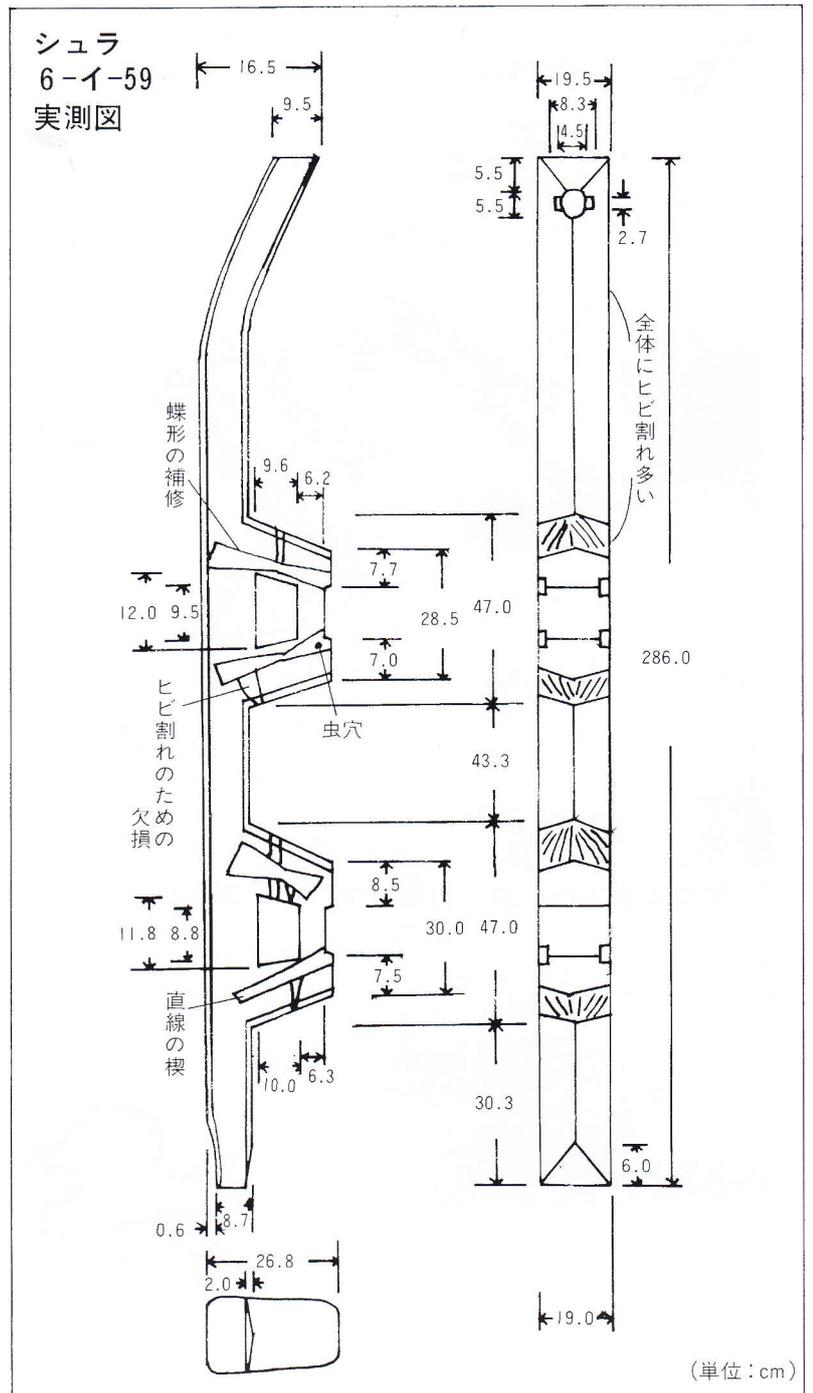
(シュラ)



シュラ 6-イ-60  
 全長302.5cm 幅17cm  
 イタヤ・トタン  
 超重量物運搬用大型二本櫓



シュラ 6-イ-59  
 全長286cm 幅19.5cm  
 イタヤ  
 超重量物運搬用大型二本櫓



② ヤマゾリ・シュラ関係付属用具

ヤマゾリやシュラは、解体して格納することができ、使用時には組立てて用いる。この組立てに使う2本の横木がヨギで、櫓の幅はこれによって決まるが、櫓は前幅を少し狭く組むので、1本がわずかに短い。

ヨギは、遊木と書くとも言われるが、これは櫓に長尺の材木などを積む時、ヨギの上にさらに重ねてヨギを組み、荷との間にアソビを持たせるためだが、これを荷台・カイボウなどとも呼ぶ。シュラの場合も同称である。

堆肥運搬（肥引き）の際には、ヨギの上に竹簧のコエ

ダナを置いて、ここに堆肥を積む。

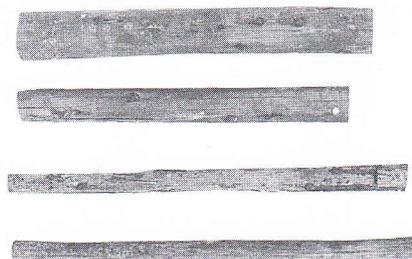
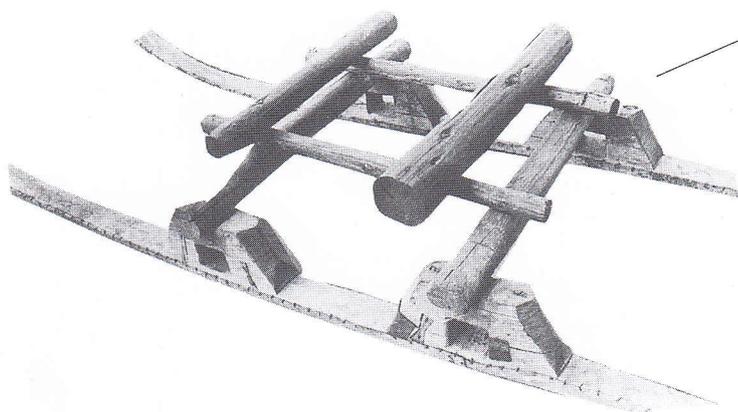
山櫓は、前方に取付けたカタナワ（引綱）を肩に掛けて引くが、柴木などを高く積んだ時は、その中段あたりに綱の支点を上げることもある。シュラの場合、一人引きはできないのでカタナワは用いない。

積載した荷を結束する綱はソリナワといい、これは三つぐり（撚り）で太く長尺に編んだ藁製ロープである。

坂道などを下る際に、櫓の制動に使うのが輪状のタガで、これを櫓の鼻に掛けてブレーキとする。次頁の写真下段のものは、木材の移動用補助具である。

〔ヤマゾリ・シュラ関係付属用具〕

▼ヨギ(6-ロー1)をヤマゾリに取付けた状態

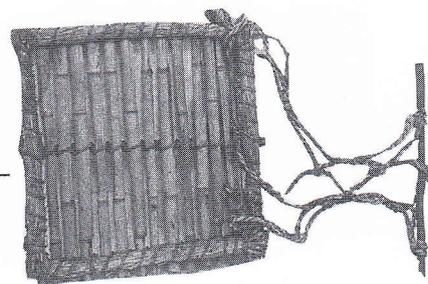
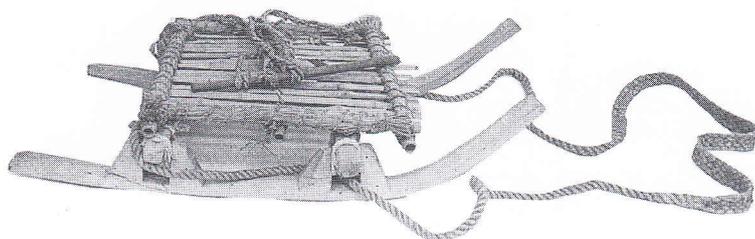


ヨギ 6-ロー1  
長さ(上より)82.2cm 77.4cm 90.6cm 92cm  
杉 横渡木



ヨギ 6-ロー2  
長さ103cm(上) 97cm(下)  
杉 横渡木

▼コエダナ(6-ロー3)をヤマゾリに取付けた状態



コエダナ 6-ロー3  
長さ62.2cm 幅63cm  
竹・藁縄 堆肥積載用受棚

ヤマソリあれこれ

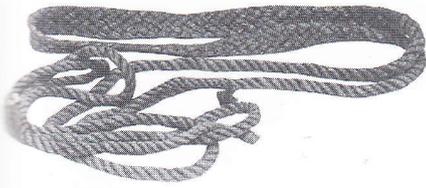
山櫓の本体といえる滑り台木をどう呼ぶのが明確ではないが、アシと呼ぶ人がかなりある。また一般的には、これ自体をソリで通称させていることが多い。

さて、このソリの素材だが、圧倒的に多いのがイタヤであり、特に適した材としてモミジをあげる人もいる。これらは木質が強靱で弾力があり、且つ滑り易いからで、これらのことは山櫓の必須条件なのである。

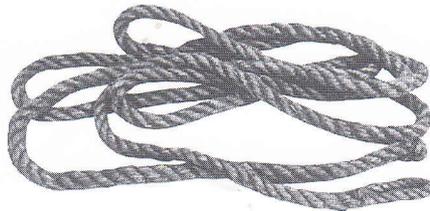
山櫓を引くときの滑りの良否は、労力の負担を直接左右するから、材質を特に選んだ。さらに、滑走面には常に油を塗って、木に浸透させておくようにしていた。昭和

和初年ころになると、滑走面に鉄板（トタン）を張ることが流行して、この問題が解消された。これはキカイソリの鉄板からヒントを得たらしいが、こうするようになってからは、他の素材も山櫓に用いるようになった。

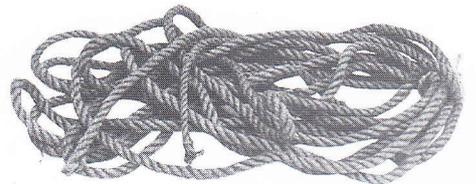
ソリはまた、スキーと同じく前方を上に戻らせなくてはならないが、そのためには自然木そのものが、櫓に適した形をしているものを選んで材料とした。そして、一対を同型とするため、幅広くソリ型を作り、これを中央から二つに挽き分けて左右一組に仕上げた。



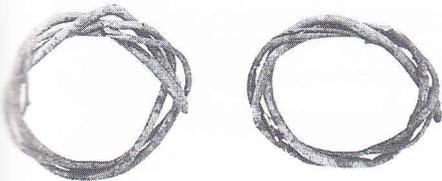
カタナワ 6-ロ-4  
全長726cm 太さ1.5~6.5cm 1,025g  
藁 引綱



カタナワ 6-ロ-7  
全長673cm 太さ2~2.5cm 900g  
藁 引綱



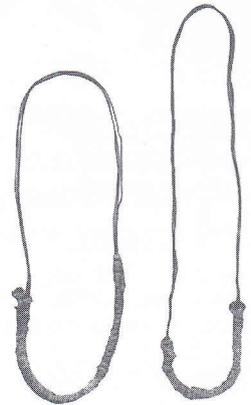
ソリナワ 6-ロ-12  
全長1,960cm 太さ1.3cm  
藁 積荷結束用



タガ 6-ロ-14  
径15×14cm(左) 12.5×18cm(右)  
マンサク プレーキ用



タガ 6-ロ-16  
径12×17cm(左) 13×18cm(右)  
藤蔓 プレーキ用



タガ 6-ロ-18  
径57.5×15.5cm(左) 70×13cm(右)  
針金・藁縄 プレーキ用



キマワシ 6-ロ-24  
全長134cm 3,720g  
鉄・木 材木運び補助具



カケヤ 6-ロ-32  
全長60.5cm 888g  
ヤマボウシ トチガネ打込み用槌



トチガネ 6-ロ-25  
径18×12.8cm 鉄長さ8.3cm 138g  
鉄・藤蔓 材木運び補助具



トチガネ 6-ロ-31  
全長18cm 285g  
鉄 材木運び補助具

### ③ キカイゾリ・キカイゾリ等関係用具

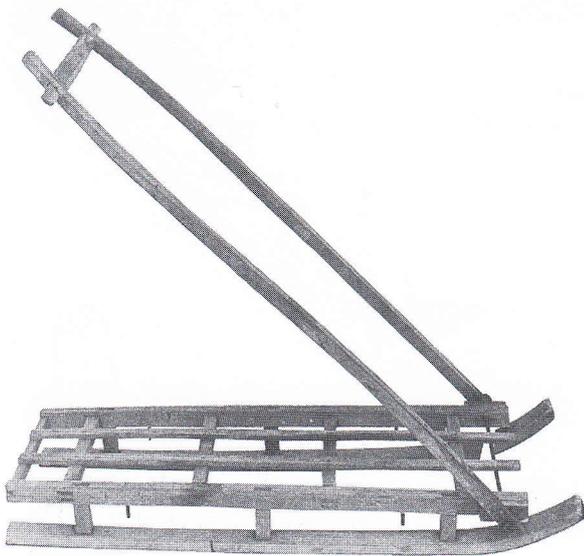
キカイゾリは、山やま橇ぞりに対していえば里さと橇ぞりともいうべきもので、人々の往来する雪道を引いて交易物資等を運搬することを目的に、大正年代ころから普及した。二本橇型であるが荷台には棚が組みつけられ、引手は木製で折畳み式、滑り台木の底部には鉄板が張られている。キカイゾリ（機械橇）の呼称はこの新式な構造に由来する。

キカイゾリは、小型であり往来を引ける軽便さから、利用範囲を広げ、また改良型も作られるようになった。下の写真上段はキカイゾリの標準型ともいうべきものだが、

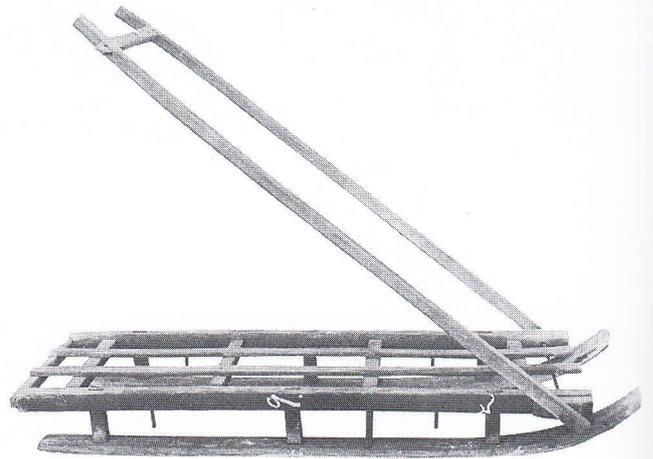
下段右のものは消防ポンプ運搬用として特製されたものである。この橇は、前後とも滑り台木の鼻を上に湾曲させてあり、前進・後退が自由で、どちらにも引けるものである。また消防ポンプは、夏場は大八車様の車に積み、積雪期にはこの橇に積みかえた。下段左のものは、さらに小型化して簡便にしたものである。

次頁に肥こ引えひき橇の利用例を示す。その補助具としての堆肥積込み用具が工夫されているが、これは山橇に比較して橇幅が狭いためである。なお、肥引き橇は、一般往来ではなく雪原につけた橇道を引く。

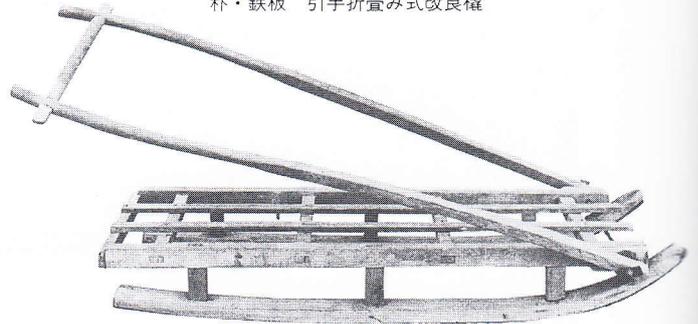
### 〔キカイゾリ〕



キカイゾリ 6-1-87  
全長152cm 幅45.2cm 高さ18.7cm 引手長さ164.7cm  
朴・鉄板 引手折畳み式改良橇

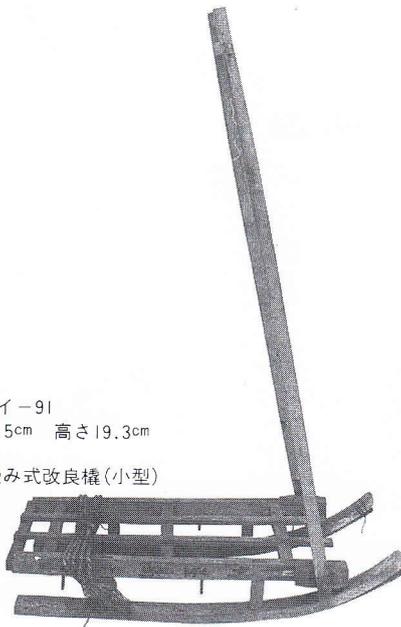


キカイゾリ 6-1-73  
全長166cm 幅48.5cm 高さ20cm 引手長さ162cm  
朴・鉄板 引手折畳み式改良橇

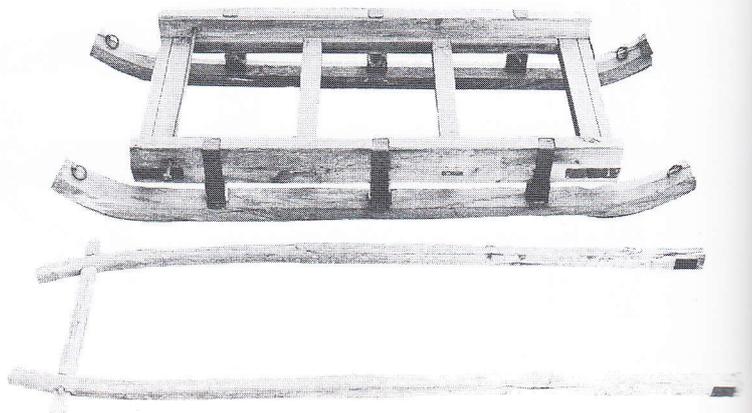


キカイゾリ 6-1-77  
全長152cm 幅48cm 高さ19.5cm 引手長さ165.5cm  
朴・鉄板 引手折畳み式改良橇

キカイゾリ 6-1-91  
全長115.3cm 幅46.5cm 高さ19.3cm  
引手長さ165cm  
朴・鉄板 引手折畳み式改良橇(小型)



ショウボウゾリ 6-1-95  
全長182cm 幅69cm 高さ28cm  
引手長さ182cm  
イタヤ・鉄 消防ポンプ運搬用



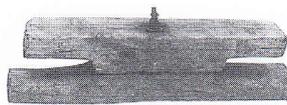


■コエスゴに堆肥を積んで肥引きをする父子



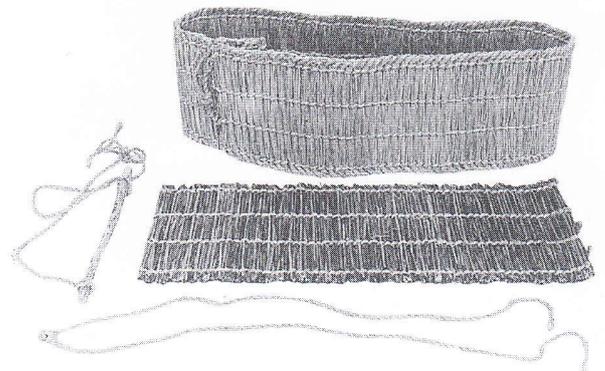
■コエバコに堆肥を積んで肥引きをする人

〔キカイゾリ等関係用具〕



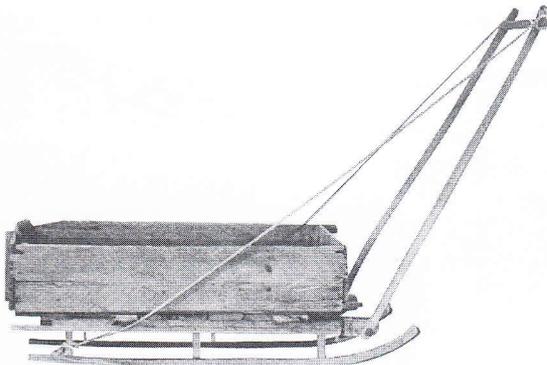
ニダイ 6-ロ-34  
全長64cm 高さ17.1cm  
杉・金具 材木積載用回転式荷台(二丁機用)

▼コエスゴをキカイゾリに取付けた状態

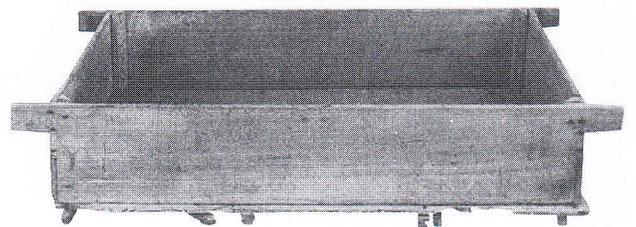


コエスゴ 6-ロ-35  
肥スゴ長さ323cm(輪状)  
下敷 129×50cm  
藁 堆肥積載用

▼コエバコをキカイゾリに取付けた状態



コエバコ 6-ロ-38  
全長137.5cm 幅58cm 高さ28cm  
杉 堆肥積載用



コエバコ 6-ロ-37  
全長145.3cm 幅82cm 高さ26.6cm  
杉 堆肥積載用

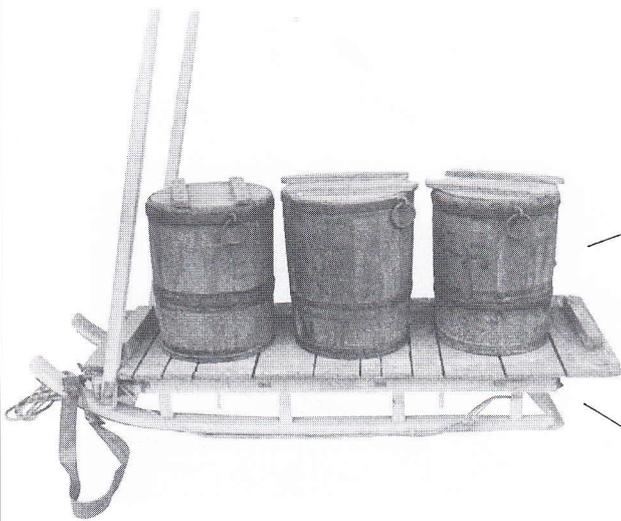


■雪中の米出し

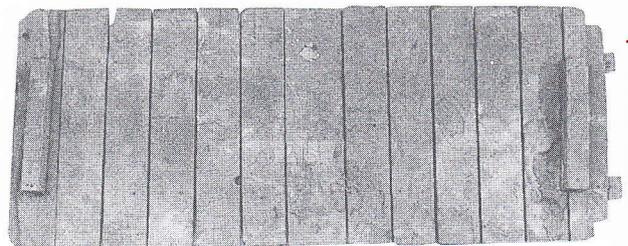


■キカイゾリ(前)とヤマゾリ(後)を使っでの木出し

▼コイオケをキカイゾリに積んだ状態



コイオケ 6-ロ-46  
口径38.3cm 高さ45.9cm 2,170g(1個)  
杉・鉄 糞尿運搬用桶



シキイタ 6-ロ-41  
全長148.5cm 幅59.3cm 高さ4.0cm  
杉 肥桶積載用敷板



■ソリによる急患の輸送



■ゴミソリでのゴミ収集

#### ④ その他の橇

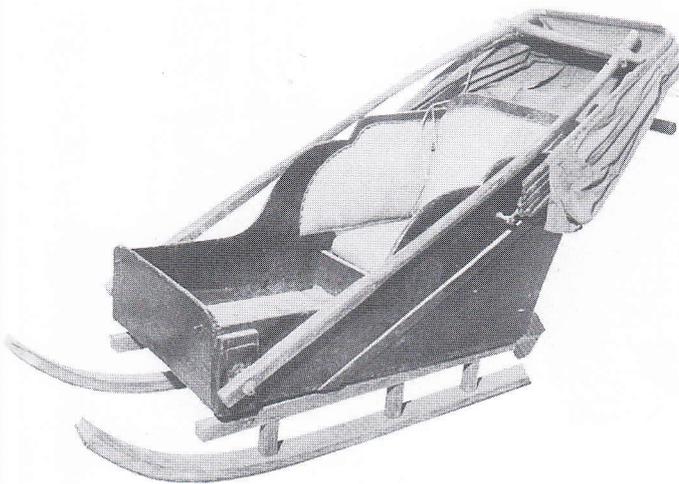
キカイゾリは、言わば道橇<sup>みちぞり</sup>とも言えるものだが、山橇では適さない路上輸送に活躍の領域を広げていった。十日町は機業地のため客の出入りが多かったため、問屋筋などでは客橇を用意して客の送迎に用いたし、これと同型の橇は医師の往診などにも活躍した。

前記の消防橇のように、車と橇を交換できる霊柩用の橇があったが、道中で交換できるように工夫したものにゴミ収集用の橇があった。なおこれは、雪解けころの道路事情に対応した工夫である。



■客ゾリでの送迎

#### 〔その他の橇〕



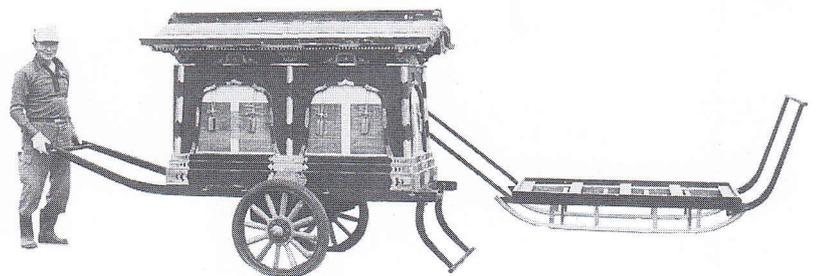
キャクゾリ 6-イ-100  
ソリ全長138.5cm 幅75cm 引手長さ145cm  
朴・鉄板・布 客用橇



キャクゾリ 6-イ-98  
ソリ全長135.3cm 幅72.5cm 引手長さ151cm  
朴・鉄板・布 客用橇



ゴミゾリ 6-イ-103  
全長150cm 幅75.7cm 高さ23.4cm  
鉄・ゴム製タイヤ ゴミ運搬用橇(無雪期用の車輪付属)



ソウシキゾリ 6-イ-101  
全長290cm 幅77cm 高さ28.5cm(右奥)  
朴・鉄 霊柩橇(無雪期用の車輪付属)

## ハ その他運搬用具

橇の活躍ぶりを紹介してきたが、前にも触れたように日常的で基本的な運搬は、やはり人体による携行・背負い、といった方法であった。しかし、その用具は無雪期である夏場のものと全く変わらなかった。

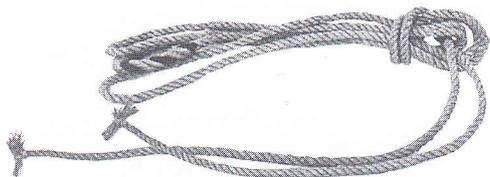
山橇の使用は、春めいてきて積雪が安定し、固く締まった雪質となってからのことと決まっていた。止むこと無く降り続く雪の中では、橇道をつけることもかなわなかったからである。その点キカイゾリは、一般の雪道を引けたから、必要があれば1~2月でも使用できた。しかし、市街地等はともかく、橇は、山地の道などでは、

一般的には手軽な運搬用具ではなかったのである。

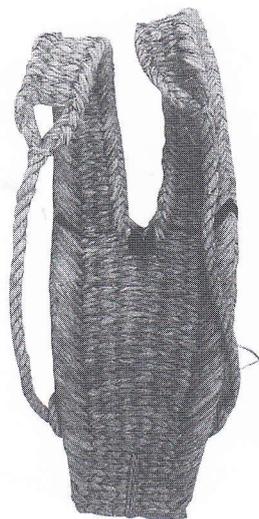
重いものであれば、セナコウジを背に当て、荷縄を使って背負った。ハシゴセナコウジは、重量のある固形のものや量の多いものを重ねて背負うときに用いた。下部に腕木の出たものは酒樽・石油缶・炭俵などを背負う際に用いたが、当地にはこの類は少ない。

タス・テゴなどは遠出の際や山仕事用の道具入れや弁当入れに、肥糞は捨て場のない雪の始末の際に、テモッコは馬屋の肥出しなどに用いた。テカゴ・オカモチは日常の買物などに、風呂敷は大小それぞれに広く使用された。

### 〔背負い運搬具〕



ニナワ 6-ハ-1  
全長642.4cm 太さ0.9~2.2cm 420g  
藁・木綿布 荷縄(セナコウジ等と併用)



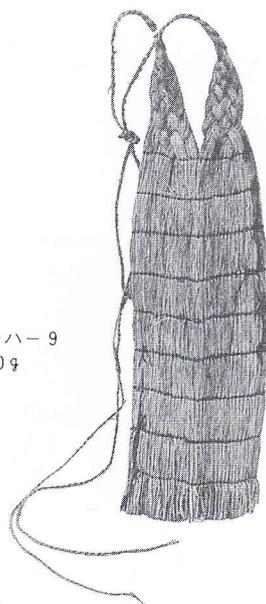
セナコウジ 6-ハ-4  
肩長さ67.5cm 幅25.5cm 840g  
藁 背中当(荷縄と併用)



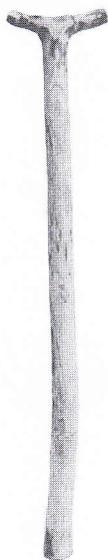
セナコウジ 6-ハ-5  
肩長さ71cm 幅27.5cm 1,270g  
藁 背中当(荷縄と併用)



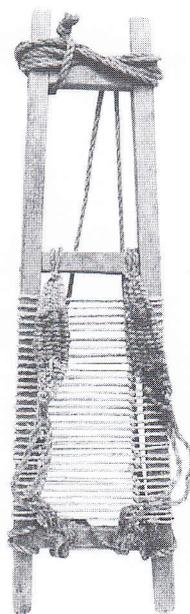
ニズッポ 6-ハ-9  
全長79.5cm 350g  
桐 荷杖



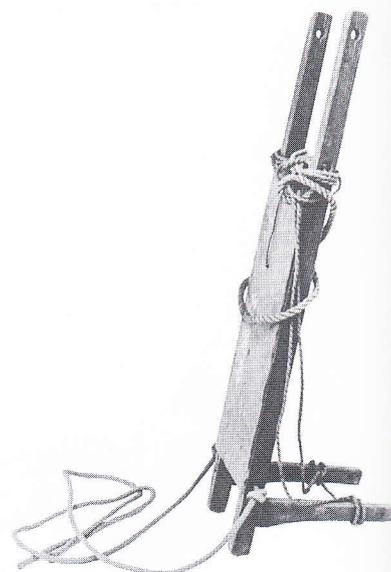
ミノゴモ 6-ハ-6  
肩長さ83cm 幅25.5cm 238g  
藁 装着用時の背中当(荷縄と併用)



ニズッポ 6-ハ-10  
全長77.2cm 333g  
桐 荷杖

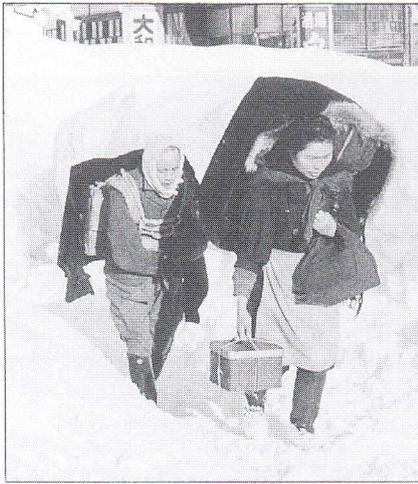


ハシゴセナコウジ 6-ハ-7  
全長102cm 幅20.7cm 1,750g  
サワグルミ・藁・藤蔓 背中当(梯子型)



ハシゴセナコウジ 6-ハ-8  
全長106cm 幅21.2cm 腕木長さ29.5cm  
腕木と背板の角度90° 2,600g  
杉・藁 背中当(梯子型)

更の部察  
并ッ常た。



■荷を担いで雪道を歩く人々



■コエカゴを使つての排雪



タス 6-ハ-12  
全長44.6cm 幅37cm 690g  
藁縄 背負縄籠



コエカゴ 6-ハ-13  
口径98×59cm 高さ65cm 2,455g  
杉・雑木・藁縄 背負肥籠

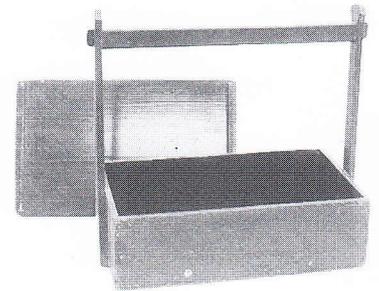
〔手持ち運搬具〕



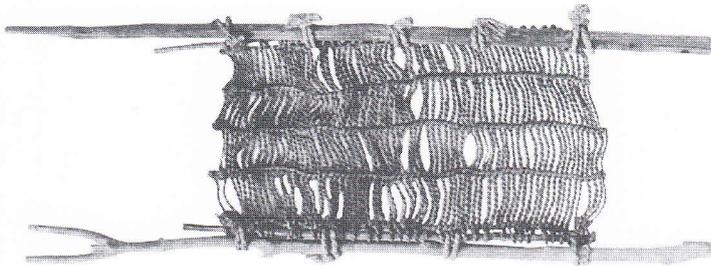
テゴ 6-ハ-15  
幅40cm 高さ23cm 520g  
藁 手籠



テカゴ 6-ハ-16  
口径26×26.5cm 高さ20.5cm 175g  
アケビ蔓 手籠



オカモチ 6-ハ-17  
箱36.5×22.9cm 高さ10.9cm 962g  
杉 岡持



テモッコ 6-ハ-14  
全長174cm 幅57cm 3,700g  
藁縄・杉・雑木 二人持型モッコ



フロシキ 6-ハ-20  
165×171cm 468g  
木綿 風呂敷

## ●運搬用具品目一覧〈計171点〉

イ、櫓 ●生産・生業用：ヤマゾリ・シュラ・キカイゾリ ●その他  
用：ショウボウゾリ・キヤクゾリ・ソウシキゾリ・ゴミゾリ

ロ、櫓付属用具 ●ヤマゾリ・シュラ関係付属用具：ヨギ・コエダ  
ナ・カタナワ・ツリナワ・タガ・トビグチ・キマワシ・トチガネ・  
カケヤ ●キカイゾリ等関係用具：ニダイ・コエスゴ・コエバコ・  
シキイタ・コイオケ

ハ、その他運搬用具 ●背負い運搬具：ニナワ・セナコウジ・ミノ  
ゴモ・ハシゴセナコウジ・ニズッポ・タス・コエカゴ ●手持ち運  
搬具：テモッコ・テゴ・テカゴ・オカモチ・フロシキ